

1. 会長挨拶（高山会長）

- ・本日のオンライン例会は、今後の例会開催をどのようにしていけば良いのか、また川嶋ガバナー補佐よりの「ローターアクト設立提唱クラブについて」等を炉辺会談形式でオンライン参加会員と話し合いたいと思いますので、宜しくお願い致します。

2. 幹事報告（刀川幹事）

- ・東日観光（株）より「2021年国際ロータリー年次大会（台北大会）参加旅行募集案内送付のご案内」が届いております。
- ・一般財団法人比国育英会バギオ基金より「2019年度事業報告書の送付と基金へのご寄付のお願い」が届いております。
- ・川嶋ガバナー補佐より「第6グループ ローターアクトクラブ設立提唱クラブへのお願い」が届いております。
- ・第2510地区より「第33回全国ローターアクト研修会本登録のご案内」が届いております。
開催日時：2021年3月14日（日）14：30～19：00 [13：30 受付開始]
登録期限：2021年1月10日（日）必着
開催方法：完全オンライン（1クラブ1回線での参加）ZOOM使用予定。
- ・本日のオンライン例会参加者は8名（高山会長、刀川幹事、川嶋ガバナー補佐、安楽S A A、栗原会員、奈良部会員、中山博文会員、事務局）ですので、宜しくお願い致します。

3. ニコニコ親睦ボックス

本日のニコニコボックス投入額：0円

親睦ボックス投入額：0円

合計：0円

累計：300,000円

4. その他の報告（高山会長）

- ・青少年奉仕活動として、毎年各中学校へロータリー文庫の図書寄贈を実施しておりますが、今年度の寄贈については、少年善行賞表彰（2/17）までに理事会にて検討したいと思います。（参加会員よりロータリー文庫は生徒に人気があり、継続事業とした方が良いとの意見）

5. その他の報告（奈良部会員）

- ・川嶋ガバナー補佐主催のIMの進捗状況をお知らせします。川嶋ガバナー補佐が、ご招待予定のお客様へ案内状を作成しましたので、松本実行委員長の承認を頂きましたら、ご招待来賓（小菅町長、田村教育長、森本ガバナー、川嶋幸雄パストガバナー[新入会員セミナー講師]中野正人様[講演依頼]）へ郵送したいと思います。

6. 例会内容（高山会長）

- ①今後の例会開催について、新型コロナウイルス感染防止対策を考えてどのようにすべきか。

《安楽会員》

ワクチンが出来るまでは、3密をしっかりと対策すべきである。オンライン例会が一番だと思うが、報告事項はオンラインで良いが、人の感情が伝わらないのが弱点である。しかし、現在、栃木県はコロナ感染が増えているので、今月は例会場に集まらずオンライン例会が良い。

《結論：高山会長》

年内は例会場での集まりは無し、忘年会も席は設けず、お弁当（希望者）と誕生プレゼントを「篠」へ取りに来て頂くとする。来年1月の例会はコロナの状況をみて開催形式を決める。



- ②バギオ基金への寄付について（例年寄付はしておらず、今年度も寄付はしないこととする）
③ローターアクト設立提唱クラブについて

《川嶋ガバナー補佐》

国際ロータリー2019年組織規定審議会に於いて、ローターアクトクラブがRIの加盟クラブに含まれることとなり、ローターアクトクラブの重要性が認識されるようになりました。第6Gに於いても栃木RCを幹事クラブとして、設立を模索しているところです。ローターアクトクラブの成功には、スポンサーとなるロータリークラブ（提唱クラブ）による積極的なサポートが必要となります。第6Gに於いても多くの提唱クラブへの賛同を募り、18歳以上の若者が楽しく交流しながら集い、ボランティア活動を行うことにより、リーダーシップのスキルや専門能力を伸ばす場となり、また未来のロータリアン育成の場としてのローターアクトクラブの設立を切望し、各ロータリークラブによる提唱賛同を宜しくお願い申し上げます。

《高山会長》

ローターアクトクラブについては、昨年の規定審議会において、RIに加盟することが決定されました。このことは、RIとの関係をより高い位置づけにしてロータリーファミリーに迎え入れることを意味しています。今後は、ロータリアンと一緒に若い人たちのアイディアを取り入れた共創の奉仕活動を企画・運営することが求められます。このような理念の下、第6グループ川嶋ガバナー補佐から提唱クラブへの参加要請が御座いました。私としては、壬生ロータリークラブが長期的な奉仕活動を可能とするためには、世代間を超えた交流や活動が非常に重要になってくると思っています。しかし、現在の壬生クラブが、提唱クラブになるには負担が多すぎるようにも感じます。皆様のご意見をお願いします。

《栗原会員》

賛同については、壬生クラブには負担が大き過ぎると思う。他の事業に予算を使うことは、今の壬生クラブでは無理があると思う。まずは自分のクラブの充実を大事にすべきである。

《奈良部会員》

少人数クラブなので分相応の活動をすべきだと思う。青少年奉仕活動は、各中学校の少年善行表彰やロータリー文庫寄贈があり、また論語検定、藩校サミットへの支援等、集中的に企画を絞って、壬生クラブの特色として活動し、今はクラブ内の結束が一番だと思う。

《中山博文会員》

ローターアクトクラブ設立提唱については、内容がまだよく理解できていませんが、クラブの負担が大きくなるのは大変なのではないかと思えます。

《安楽会員》

今年度は、当クラブから川嶋ガバナー補佐を輩出していることを考えると、出来るだけ協力をしたいと思うが、はたして会員がどこまで協力してくれるか、また恥ずかしい活動をしたくはないので、賛同したいとは思っているが現状は難しいと思う。

《刀川幹事》

現在「蔵の街とちぎローターアクトクラブ」には、川嶋ガバナー補佐の会社から2名の会員が参加されております。このことをもっとPRして盛り上げて頂ければと思います。コロナ禍の状況で、色々な活動が出来ずにいる中で、ローターアクトへの支援活動は協力しても良い



と思います。

《川嶋ガバナー補佐》

ローターアクトクラブは、ロータリークラブと同じ立ち位置になり、提唱クラブは親クラブになると考えて頂きたい。ホストクラブが全面的に支援するのではなく、立上げの時だけ金銭的な支援が必要となりますが、後は自分たちの会費で運営していきますので、若い人達がロータリー精神に感銘して社会奉仕をしていく、ロータリーを勉強したいと思う人にチャンスがあげられればと思っております。

《奈良部会員》

ロータリーと同じ立ち位置というが、どのような人が会員になるのか不安がある。本来ロータリークラブへ入会するには、ロータリアンの推薦が必要であり、それなりの人格や職業分類を審査してのロータリークラブへの入会となるべきだと思う。

《栗原会員》

本日の参加者だけでは、ローターアクトクラブに関しては決められない。もっと検討すべき事項であり、提唱賛同の期限があると思うが、例会場にて大勢の会員の協議が必要だと思う。

《安楽会員》

賛同については、方向性だけ示して、今後十分に検討していくべきである。

《高山会長》

ローターアクトクラブ定款によると「会員資格は、善良な人格とリーダーシップの資質を備えた年齢18~30歳の学生及び若い職業人が資格ある会員となるべき」と、ありますので、今後のロータリアンを育てるといふことにもなるかと思えます。色々なご意見を有り難うございました。「ローターアクトクラブ設立提唱クラブ」の件は、方向性としては、提唱クラブ賛同を進めていき最終決定は後日と致します。

12月 疾病予防と治療月間

12月23日 (水)	休会	
26日 (土)	忘年会 (会場での開催ではなく自宅開催)	「篠」の日本料理を自宅で
30日 (水)	休会	

1月 職業奉仕月間

1月 6日 (水)	休会	
13日 (水)	クラブ協議会 (進捗発表)	理事会
20日 (水)	会員卓話 (茂木会員)	星の宮CC
27日 (水)	会員卓話 (広瀬会員)	星の宮CC

* 忘年会・誕生会はお弁当だけ持ち帰りとして、席は設けませんので宜しくお願いします。

配布日時：令和2年12月26日(土) 午後4時~5時 (誕生月の方は写真撮影します)

配布場所：日本料理「篠」持ち帰り用お弁当 (一人当たり3,000円希望者のみ)

誕生プレゼント：シンビジュームを贈呈 (来られない方は連絡ください)